



みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
 御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
 静岡市清水区日の出町7番2号
 TEL. 054-352-4146 (代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

興津国際流通センター2号棟が完成しました

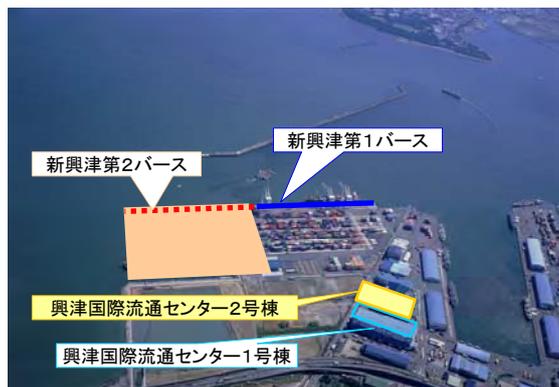
港湾物流高度化基盤整備事業（港湾ロジスティクス・ハブ形成支援事業）の全国第1号として、清水港興津地区に「興津国際流通センター2号棟」が完成し、平成20年1月25日（金）に、竣工式典が行われました。

この「興津国際流通センター2号棟」は、平成10年3月に完成した1号棟に隣接して建設され、現在供用中の新興津コンテナターミナルの背後に立地しています。同センターは、大規模な高度荷さばき施設として、保管、検品、流通加工等の機能を1カ所に集約して行っており、流通コストの削減やCO2排出量削減を図っています。

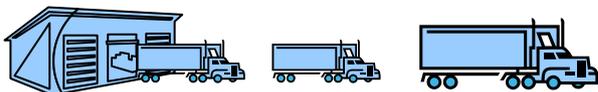
清水港のコンテナ取扱貨物量は、年々増加傾向にあり、平成20年度着工予定の清水港新興津コンテナターミナル第二バースをはじめ、第二東名高速道路、中部横断自動車道などの物流インフラ整備により、今後ますます清水港の発展が見込まれ、同センターは物流機能の重要なポジションを担う施設として期待されます。



完成した「興津国際流通センター2号棟」



新興津コンテナターミナルの様子



ファインダーの向こう

御前崎は1年を通して風が強く、ウインドサーフィンのメッカとして知られています。この、強い風の恵みを利用した風車が御前崎港に設置されています。

この写真は平成16年3月に設置された「ウインクル」という愛称の風車です。翼の直径は80メートルもあり、最大出力は1,950kWで、港の施設の電気を生み出しています。

自然エネルギーを活用する風車は、港の景観にもアクセントを添えています。全国の港で風車が回っている風景を見てみたいと思います。

御前崎港は、近年コンテナ貨物の取り扱いが急増しています。また、来年3月に開港予定の富士山静岡空港や第二東名高速道路、金谷御前崎連絡道路など、物流インフラの整備により静岡県の中西部を支える物流の拠点としてより一層の飛躍が期待されます。

物流だけでなく、自然エネルギー利用の先進事例としても御前崎港が発展することを願っています。



「御前崎港のウインクル」

Photo : A. Fujii

清水港湾事務所長 藤井 敦

小学生に副所長が出前講師

平成20年2月15日(金)、静岡市立松野小学校へ出前講座に行き、内田吉文清水港湾事務所副所長が講師として同小学校3年生12名のみなさんに、「港の役割」についての話をしました。

講座では、清水港を紹介するビデオを見た後、港の歴史や役割、食品・エネルギーの海外依存率などについて話し、生徒達からは、「どうしてアメリカが貿易相手国で上位なのか。」や「マグロは1日何匹あがるのか。」などの活発な質問がありました。

この松野小学校は内陸部にあり、生徒のみなさんは日常的に港を見ることはありませんが、今回の出前講座を通じて、少しでも港を身近に感じてもらえたと思います。



講師の話を熱心に聞く松野小学校3年生の生徒たち

みなとづくり見学会をご存じですか？

清水港湾事務所では、『みなと』の果たす役割を地域の皆さんに広く知っていただくことを目的として“みなとづくり見学会”を開催しております。

☆対象者☆ 県・市町村・自治会・NPO・学校・商工会等の団体(数名～数十名)単位で受け付けております。

問い合わせ・申込はこちらまで

- ◇清水港湾事務所 TEL 054-352-4148
- ◇御前崎港事務所 TEL 0548-63-4840
- ◇下田港事務所 TEL 0558-23-1208

最近の見学実績	2月18日	ジェトロ中部圏内事務所長
	2月21日	静岡市立松野小学校 3年生
	3月 5日	西三河建設協議会
	3月 6日	静岡市立葵小学校 3年生

2/15の出前講座の数日後、2/21に実際に清水港を見学に来た、静岡市立松野小学校3年生のみなさん



マリナーミナルの送迎デッキから、フェリーの発着や港の様子を見学



間近見るガントリークレーンにみんなくぎづけの様子

4月から新学期だね！
応援しているよ！



3/6、静岡市立葵小学校3年生104名のみなさまが清水港を訪れ、マリニビル展望室から清水港について勉強しました。



←当事務所職員が、清水港について説明しました。



↑
みんなで集まって、熱心に勉強中

「港で働いている人は何人いますか」など、たくさんの質問が出ました。



田子の浦港で岸壁工事を進めています

田子の浦港中央地区では、老朽化した岸壁の改良工事が進められています。この工事は、水深を-9mから-12mに深くすることにより、大型船舶の入出港を可能とするとともに、大規模地震災害時には、緊急物資等の海上輸送基地の役割を果たすための耐震強化岸壁として整備が進められています。将来的には、延長240mの岸壁整備を計画しており、平成20年7月には、ジャケットと呼ばれる岸壁の鋼鉄製の骨組2基が据付けられる予定です。



田子の浦港



岸壁イメージパース図

田子の浦港事務所発

鉄くずはどこへ・・・？

田子の浦港の吉原ふ頭には、写真のように鉄くずがうず高く積みまれています。この鉄くずはどこから来てどこへ運ばれて行くのでしょうか？

田子の浦港には、外国から木材チップ、パルプおよびとうもろこしなど多くの品目が輸入されていますが、輸出されているのは現在のところ鉄くずの1品目のみで、静岡県内から集められ、主に韓国へ輸出されています。

鉄くずは、鉄鉱石と並ぶ重要な鉄の原料であり、回収された鉄くずは、電気炉によって建築用の鉄筋等にリサイクルされています。

鉄くずは、最近の中国各地の建設ラッシュに伴う鉄需要の高まりなどの影響により、国内の相場も2001年に6,200円/トンだったものが、2007年には30,000円/トンに急騰しています*1。

日本は、アメリカやロシアに次ぐ世界有数の鉄くず輸出大国であり、韓国を始めとした東アジア諸国向けの供給基地となっています*2。その中、海上輸送コストが上昇しているため、鉄くずの輸入国を米国から日本にシフトする動きも出てきています*3。

[出典：*1 asahi.com/2007.4.1 *2 建設物価/2007・12月号 *3 建設物価/2008・2月号]



田子の浦港吉原ふ頭に積みまれた鉄くず

日本三大だるま市「毘沙門天大祭」

群馬（高崎）・東京（深大寺）に並ぶ、日本三大だるま市のひとつとして有名な「毘沙門天大祭」が、富士市今井の妙法寺において、平成20年2月13日（水）～15日（金）の3日間開催され、約24万人の方が訪れました。

この毘沙門天大祭は、毎年、旧暦の正月7日から3日間開催されるお祭りで、境内では、地元「鈴川ダルマ」の露店がずらりと軒を連ね、大勢のお客さんと賑わっていました。

富士市は昔から製紙業が盛んで、作業工程で出た紙の端切れを使って、ダルマを作るようになったといわれています。

来年は、平成21年2月1日（日）～3日（火）で開催されますので、お出かけしてみたいかたがでしょうか？



ぼくと同じ色のダルマさんもいたよ！
ほかに、いろいろな色のダルマさんがいたよ。



港うお(魚)ツチャー

タチウオ編

(釣りバカカリチョー:監修)



チョー:大変ですねえ、毎晩遅くまでご苦労様です。
清水では夜の街でみなとが造られるんですか? 係長。

みなと:バカ言ってるじゃあ～りませんよ。こちとりゃネオンの明かりじゃなくて蛍光灯の下で、みなとの繁栄のために日々汗してるのですよ。でもたま～にはネオンもいいかもね・・・お友達を紹介してくれませんか?

チョー:駿河湾のネオン好きはタチウオですね。
夜になると深場からエサを求めて浅場へ上がり、フラ～と明かりのある方へ。

釣るときはタチウオ用に発光するルアーがあったり、エサ釣りでも集魚ライトで誘い寄せたり、仕掛けに水中灯を付けたりとネオンが似合ういい奴さ。またそいつ面白くてさあ、立って泳いでいるからか、はたまた表皮の銀箔のいたずらなのか、魚探に映りにくいらしく一瞬にして消えちゃうっていうから、別名「幽霊」。そんでもってその銀ピカはグアニンという物質で、なんと昔は、マニキュアやイミテーションの真珠、銀箔紙の原料に使われてたらしいって意外なうち。

みなと:ズバリ、その方とお近づきになりたいです。

チョー:それが神出鬼没な奴でね、でも夕方に一瞬のチャンスがあるから、ルアーでお誘いしてみたいかでしょう。三保防波堤前や三保灯台周辺で Let's enjoy fishing !!



タチウオ

(写真提供:東海大学海洋科学博物館)
※現在は飼育されておりません。

ワカメの養殖体験記

昨年12月に、清水港江尻にある「清水港海づり公園」で、ワカメの養殖体験がありました。

ワカメ養殖には、一般の方が参加されていて、中には山梨県からのリピーターの方もいらっしゃいました。

植え付けから待つこと2ヶ月。今年2月、海釣り公園から「収穫に来て下さい」との連絡が入り、さっそく水上バスに乗って海づり公園まで出かけました。

ワカメの芽を植え付けたロープを引き上げると、それは、それは見事なワカメがいっぱい!「おすごい♪」と、喜ぶのも束の間、とても重く、引き上げるのも一苦労でした。

収穫したワカメは、釣りバカカリチョーが大切に調理してくれて、サラダやみそ汁、わかめご飯などにしておいしくいただきました。

引き上げたときはたくさんあった生ワカメも、ゆでて干したら両手いっぱいくらいに縮んでしまい、少々切ない気分でした。

冷たい冬の風が吹く中、海からワカメを引き上げ、冷たい水でワカメを洗い、商品にしているワカメ業者の方の苦労を、少しだけですが感じることができました。



わずか数cmの芽です



ロープを海に入れます



1m以上のものもありました



太いロープに巻きます



収穫! わかめの色に注目!



熱湯にいと緑色に

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本誌に関するお問い合わせ先■
清水港湾事務所 企画調整課

太田・屋敷

TEL 054-352-4148

e-mail shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

春が
きました

